

中日本高速道路株式会社が発行する グリーンボンドの引受けについて

今般、みずほ証券株式会社（取締役社長：飯田 浩一）は、中日本高速道路株式会社（以下「NEXCO 中日本」といいます。）が2020年11月25日に条件決定いたしましたグリーンボンドの引受主幹事をグループ会社のみずほインターナショナルを通じて務めましたので、お知らせいたします。

NEXCO 中日本は、国際資本市場協会（ICMA）が定める「グリーンボンド原則 2018」および環境省「グリーンボンドガイドライン 2020年版」に準拠したグリーンボンド・フレームワークを策定するとともに、その適格性について、株式会社日本格付研究所から最上位評価である「Green1（F）」を高速道路会社として初めて取得しました。

NEXCO 中日本は、自然災害に対する強靱性および適応力の強化を図り、安全・安心で持続可能な社会基盤の構築をめざしており、グリーンボンドで調達される資金は、特定更新等工事や新設高速道路における高機能舗装等の「気候変動への適応に資する事業」に充当されます。

当社は、社会と〈みずほ〉の持続的な発展に向けて、金融機関として貢献すべき取り組みを積極的に推進しており、資本市場におけるSDGs債の専門的な情報収集、お客様のSDGs債ストラクチャリングを支援するため、2017年にサステナブル・ファイナンス・デスクを設置し、その後2019年からサステナブル・ファイナンス室を新設して、これらの取り組みを強化しています。

これらの取り組みにより、当社はグリーンボンド等の引受けなど、さまざまなお客様のSDGs債の起債を支援し、ストラクチャリングなどを通してお客様の社会貢献への取り組みを全面的に支援しています。

当社はグループの総合力を活用し、今後もお客様の金融取引を通じた社会貢献への取り組みをサポートし、SDGs債をはじめとする債券の引受けを一層推進し、最良のサービスを提供してまいります。

以 上